

平成 19 年 12 月 10 日

新東京ライン延伸工事・群馬ライン建設工事の完工について

当社子会社帝国石油株式会社はこの度、新東京ライン延伸部建設工事及び群馬ライン建設工事を完工いたしました。

1. 新東京ライン延伸部

今回完工した新東京ライン延伸部は、長野県軽井沢町を起点に群馬県安中市を經由し、富岡市を終点とする 2 県 3 市町にわたる総延長約 46km の高圧パイプラインであり、平成 17 年に着工したものです。

帝国石油㈱は、天然ガス輸送能力の強化を目的に、パイプラインネットワークの拡充を進めていますが、新東京ラインにつきましては、既設の東京ライン（新潟県上越市～東京都足立区間約 312km、昭和 37 年完工）に並走する形で、平成 9 年に新潟県頸城村～長野県信濃町間を敷設後、同 12 年に長野県信濃町～軽井沢町間を建設し、段階的に延伸してきました。

今回は第三期工事として、関東甲信越に広がるパイプラインネットワーク沿線地域での旺盛な天然ガス需要に対応するため、これをさらに東京方面へ延伸させるもので、同ラインの総延長は約 193km に達することになり、天然ガスの輸送能力並びに供給安定性の向上が図られることになります。

2. 群馬ライン

群馬ラインは、群馬県富岡市妙義町において新東京ラインから分岐し、安中市までの延長約 6km の高圧パイプラインで、本年 2 月に着工しました。

帝国石油㈱は、北関東エリアにおける天然ガスのさらなる普及拡大のため、東京ガス株式会社と共同で「群馬連絡幹線（群馬県富岡市妙義町～邑楽郡邑楽町間：延長約 100km）」構想について検討を実施することで基本合意しています。このうちの一部区間については、東京ガス群馬支社管内の旺盛な需要への対応策として、平成 22 年の供用開始を目指し、両社でパイプライン建設工事を先行実施しているもので、今回完成した群馬ラインは、東京ガス㈱が建設中のパイプライン（安中市～高崎市間：延長約 16km）と接続する予定です。これにより、両社協調による天然ガス供給体制が強化されることになります。

当社は拡充するパイプラインネットワークを安全に管理し、より多くの皆様に地球環境に優しい天然ガスを安心してお使い頂けるよう努力してまいります。

【新東京ライン延伸概要】

ライン名称：新東京ライン

区 間：長野県北佐久郡軽井沢町（軽井沢バルブステーション）～
群馬県富岡市（高瀬バルブステーション）

仕 様：設計圧力 6.9MPa 管径 20 インチ（508mm）

延 長：約 46km

【群馬ライン建設工事概要】

ライン名称：群馬ライン

区 間：群馬県富岡市妙義町（妙義バルブボックス）～
群馬県安中市（磯部バルブステーション）

仕 様：設計圧力 7.0MPa 管径 20 インチ（508mm）

延 長：約 6km

以上

天然ガスパイプライン図

